

病いと患い

ルイシビル ケンタッキー州 アメリカ合衆国
1950年01月00



www.messagehub.info

ウィリアム・マリオン・ブラハム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7

はじめに

際立ったウィリアムブラナムのミニストリーは、マラキ4章4,5,6及びルカ書17:30と黙示録10:7と多くの聖書の預言に対する聖霊からの答えなのです。この世界規模のミニストリーはこの終わりの時に聖霊による神の御業の継続なのです。それは聖句の中にあり、イエスキリストの再臨のためにある人々を整えるために立ち上げるために必要とされていると書かれています。

あなたが祈り深くこのメッセージを読むとき、この印刷された御言葉があなたの心に刻まれるようにと祈ります。

メッセージの正しい転写、翻訳を提供できるように最善を尽くしておりますが、英語の録音がウィリアムブラナムによって語られた説教をもっともよく表しているものです。

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

の人が愛らしく、協力し、クリスチャンになりますように。今夜素晴らしい会議がありますように。聖霊の力が建物を席卷し、建物の中にいるすべての人を癒してくださいますように。私たちはイエスの名においてそれを求めます。アーメン。

一度だけ歌ってみましょう。

信じるだけ。…(誰もができる限り敬虔です。)

すべてのことは可能であり、ただ信じるだけです

ただ信じ、ただ信じ、

すべてのことは可能です、ただ信じてください。

今、このように歌えるだろうか:

今私は信じています。…

何人が信じる?歌っている間に手を挙げてください。

今、私は信じています、(主を讃えなさい。)

74 [テープ上の空白部分。祈りの列が始まりました。]…癌か女性の問題を抱えています。そしてほんの一瞬;二人ともほとんど同じようにヒットしました。それは女性の悩みです。そうだろう?はい。でも、それはほとんど癌です、それがそれです。あなたにとって人生は花のような安らぎのベッドではありませんでした。ね?いや、いろいろトラブルがあったんですね…。

病いと患い

1 説明を少ししたいと思います……

【拡声装置が大きなハウリング音を立てる】……

皆さんが知っておくべき大切なことについてです。私の声はあまり大きくありませんので、こちらへ来なければなりません。

主がお許しになるなら、日曜日の午後に、福音伝道の説教をさせていただきたいと思っています。そして今週、主が私たちのために大いなることをしてくださいますことを期待しています。

一つは、祈祷カードについてです……。ここにおられる多くの方は、病人や苦しんでいる方々にどのようにして祈祷カードが配られているのかを、ほとんどご存じないでしょう。

三年間いろいろと試みてきましたが、これまでに見つけた中で、神に祝福されているように思える方法は、このやり方だけなのです。

2 最初は、まったく祈祷カードを使わずに、ただ人々を並ばせていました。

しかし、あまりにも混雑してしまい……。私は十五分か二十分ほど祈るのがやっとで、群衆が押し寄せてきて、係の人たちが私をそこから引き出さなければならぬほどでした。

それから次に、祈祷カードを前もって牧師たちに送る方法を始めました。

その地域には五十、あるいはそれ以上の教会が集会を後援していましたが、それぞれの牧師に少なくとも百枚のカードを渡していました。

ところが、どの牧師もまず自分の会衆を優先させたいのです。自分の教会員にカードを配り、おそらく四、五晩のあいだ、ひとりの牧師の会衆だけが前に出ることになります。そうすると、ほかの教会の人々はとても残念な思いをします。

そこで今度は、地元の人だけに配ることを考えました。

しかし、集会には七千、八千マイルも離れた所から来る人々もいるのです。それでは正しいとは言えませんでした。

3 そして、私たちが本当に最善だと分かった唯一の方法は……主に道を開いていただくことでした。

およそ五十枚ほどの祈祷カードを持って来て、それを人々のグループに配るのです。そして、誰が呼ばれるかは誰にも分からないようにします。

五十枚配っても、そのうち一枚も呼ばれなかったことさえあります。

集会が始まり、主の御霊が私を人々の中へと導き、祈祷カードをまったく使わないこともありました。

また、壇上に座って語り始めた途端、一時間以上も我を忘れたようになり、最初の一人を呼び、次の人を呼び……そのようにしていったこともあります。

そのときは、一人残らず癒されました。

すると人々は列に並びたがります。

私はこう言ってきましたが、これは真実です。三年間ずっとそうでした。失礼、五年ではなく三年です。

この壇上に上がって来た人は、すべて癒されています。

どれほどひどくねじ曲がっていようと、足が不自由であろうと、どんな苦しみであろうと、必ず癒されてきました。中には目を覆いたくなるような重い症例もありました。

しかし……一晩のうちに、せいぜい三人、四人、五人ほどしか祈れないこともあります。時には……。

4 かつてカナダのカルガリーでのことです。二万五千人が集まっていたのに、祈れたのはたった二人でした。二人です。

一人は、十八年間も苦しんできた少年でした。手は内側に引きつったまま、車椅子に座っていました。母親は彼を支えるために結婚指輪まで質に入っていました。彼は七回か八回も集会に来ていましたが、どうしても祈祷カードを手にする事ができませんでした。

ついに、彼の時が来て壇上に上がりました。

その少年は自分の足で壇上を歩いて降りていきました。翌朝、生まれて初めて自分でひげを剃りました。そして、バンクーバーで飛行機が到着したとき、

しょう。そこには文字通り何千人もの人々がビーチを縦横無尽に歩き回っていたので、彼らは…彼はそこに入ることができなかつた。ロサンゼルスに行きましたが、そこに入ることができませんでした。

そしてついにモデストで、雨の夜、彼の妻が道を横切って転落した。彼の顔にはひげが生えていて、恐ろしく、恐ろしい表情をしていました。そして彼はそこにいました。言った、“ブランナム兄弟、何かをしなればなりません。” “彼は一彼は一彼は食べません、彼は食べることさえしません、と言いました。彼に水を突き刺すことはできません。” ああ、彼はひどい顔をして、そこに座り、ただ目を見つめていた。

入ってきた。彼は、“うーん”私から、そんな風に返事をし始めたんです。

71 ドアに鍵をかけるように言いました。そして私たちは疲れていて、土曜日の夜のクラブハウスで何時間も病人に対処していました。ブラウン兄弟とムーア兄弟にドアに鍵をかけさせ、人々を遠ざけさせました。彼の妻は道を横切って転んで泥だらけになり、私のズボンの脚にしがみついていた。動くことすらできなかった。彼らは、彼女がしがみついている私を引きずり込んで夫のところに行くことができませんでした。

約45分後、それは彼のもとを去った。彼は私の周りに腕を回して抱きしめ、そのように帽子を頭に置き、握手し、元気になるために家に帰りました。

72 教えてください、友達、もし私が批評家だったら、それが起こっている場所にさえ立ち入らないでしょう。私はあなたを助けるためにここにいるのであって、あなたを妨げるためにここにいるのではない。さて、それを覚えておいてください。頭を下げておいて、何かあったら、その責任は私にあります。さて、あなたはそれについて話すことができませんでした、なぜならあなたがここに来たら私はそれを知るからです。しかし今は、ただ敬虔に祈りなさい。私があなたに頭を下げてほしいと頼むとき、あなたは頭を下げ続けます。昨夜はそうしましたね、とても素敵でした。そして今夜も同じことをすれば、すべてうまくいくでしょう。あなたは。… ラインを準備してください。ちょっと頭を下げましょうか。

73 お父さん、一今は素晴らしい時期だと気づきました。敵と対面する時です。そして、ここには障害を負い、苦しみ、そして死にゆく人々がいます。ここに並んでいるのは、おそらく癌か心臓疾患を患っている人々です。今の彼らの何が問題なのか分かりません。しかし、あなたはあなたの僕に言うでしょう。そして、あなた、あなたがそれらすべてを完全にうまく届けてくださるよう祈ります。そして、そのたびにサタンが呼び出され、聴衆の前で暴露されますように。主よ、すべて

げないでください。それ以前にそうしていただければ、私は何が起こるかについて責任を負いません。

68 フーパーさん、近づいてみると、彼は.. 別の会議に参加していた人に会うのが好きです。彼は私たちと一緒にアリゾナ州フェニックスにいて、市の職員の一人が会議に参加していました。

彼は言いました、“まあ、それは心理学の良いケースです、” 言いました、“私はただ.. それには何もありません。”

私はその男を感じ続けた。彼は私の右側に戻っていました。私は言いました、“私の右側の誰かが頭を上げて。” 彼は頭を下げようとしなかった。

案内係の一人が彼に言いました、「“頭を下げてください。”」

彼は市の役人だったので、「“その必要はない」と言いました

“わかった。”

それで彼らは私に知らせを戻してくれました。

69 そこに小さな子供がいて、彼は布切れを巻いた洗濯ばさみを持って、…。彼はてんかんの発作を起こしており、当時プラットフォーム上で発作を起こしていました。てんかん患者が来ると、発作を起こすこともあります。

そして私は言いました、“わかりました、先生、私はあなたに尋ねました。私にできることはそれだけです。”

私は祈りました。私は言いました。“神よ、この罪のない子供が、その子供のために—その男のために、その不従順のために” 苦しむことを許さないでください 子供を残しました。男はただ微笑んで続けた。

約 2 日後、彼は一面白い気持ちになり始め、こう言いました。“ああ、そう思っているのは私だけです、それだけです。” “それはただ—それは私の想像であり、私を最大限に活用しているだけです。” と言いました 振り払おうとした。

1日ほど後、警官たちは彼をダウンタウンまで迎えに行き、歩き回った。約6週間後、彼はやって来ました。…

70 私はロングビーチのチャールズ・フラーでチャールズ・フラーと一緒に礼拝をしていました。皆さんの中にいた人がいたら、そこに何人がいたかご存知で

タラップのところで私を迎え、手を握ってくれたのです。

次は小さな女の子でした。カトリックの家庭の子で、片足がもう一方より四インチも短かったのです。その子のために、一時間以上祈りました。

同じこの聖書を……彼女が連れて来られたとき、足は横に大きく傾いていました。私はこの聖書を彼女の頭に置きました。すると、その子はどの子どもと変わらないほど普通に、壇上を行ったり来たり歩いたのです。二万五千人の人々が座ってそれを見つめていました。

しかし、私たちはそのようなことについてただ……。

5 ここにおられる誰が祈祷カードを持っているのか、誰が最初に呼ばれるのか、私はまったく知りません。

カードを配ってから、私たちは会場に入ります。

少し説明しましょう。兄が「五十枚のカードを配りました」と言います。

私が会場に入ると、たとえば小さな子どもに会うことがあります。

「数を数えられるかい？」と聞きます。

「はい、数えられます」と答えます。

「じゃあ、数えてごらん」と言います。

その子が十、十五、二十と数えて、どこかで止まります。

その止まった番号から祈りの列を始めるのです。もし二十で止まれば、二十番から祈祷列を始めます。そして前へ進むこともあれば、後ろへ戻ることもあります。

また別の晩には、並んでいる人たちを何人か数えて、それを二で割って番号を決めることもあります。あるいは、そのようにして別の方法で決めることもあります。

6 今夜、祈りの列がどこから始まるのか、まだ誰も分かりません。

ただ、その時にふさわしいと思われる所から始めるだけです。

ある時は、足の不自由な方々の中から始まることもあります。

またある時は、病気の方々の中から始まることもあります。

私には分かりません。誰にも分からないのです。

私たちはただカードを配り、あとは主に導いていただくだけです。

そして、その方法はいつも祝福されてきました。

どうか、祈りの中にいてください。

7 これは、こちらの皆さんにとっては、きっと初めてのことばかりでしょう。

私がこれまで行ってきた集会の中で、伝道に出て以来、二日目としては今夜がいちばん小さな集会です。

普通は、どの会場でも、あるいはどのような形であれ告知されていれば、二日目には七千、八千、一万人ほどになります。もともと、今回は地元だけの広告ですから。

群衆が集まる理由は、国際的に告知されるからです。一つの州から何百人も来たり、ほかの州からも来たりして、そのようにして大きな集まりになります。

ここを終えた次の集会は、ヒューストンのコロシウムです。たしか一万七千人収容だったと思います。すでに四、五の国際新聞にも掲載されています。だから、海外からも、あらゆる所から人々が集まって来るのです。

今夜は、少しだけ御言葉を読みたいと思います。

神の御言葉は決して失敗しません。私の言葉は失敗しますが、神の御言葉は決して失敗しないのです。

詩篇103篇1節から3節です。

わがたましいよ、主をほめたたえよ。

わがうちなるすべてのものよ、その聖なる御名をほめたたえよ。

わがたましいよ、主をほめたたえよ。そのすべての恵みを忘れるな。

主はあなたのすべての咎を赦し、あなたのすべての病をいやされる。

神がその御言葉に祝福を加えてくださいますように。

さて、父よ、あなたは人間の弱さを知っています。そして私たちは神の力を知っています。そして、私を母の子宮から引き離し、私をこの世に導き、この目的のために定められたあなたの天使が今夜ここに立つことを祈ります。親愛なる神よ、何千人もの人々、何十万人もの人々の前で大胆にこの偉大な発言をしたとき、あなたはまだ一度も失敗したことがありません。そして、あなたが今夜私たちを裏切ることはないことを私は知っていますが、あなたは今夜、心のあらゆる秘密の罪が人々に語られ、彼らの病気が人々に語られ、彼らを縛っている悪魔が語られることを認めてくださるでしょう。そして、すべての人は救われるでしょう、お父さん？なぜなら、私たちはあなたを信頼し、あなたを愛し、あなたを信じ、あなたの御名とあなたの栄光のためにそれを求めるからです。父よ、今あなたの僕の祈りを聞いてください。私たちはイエスの名においてそれを求めます。アーメン。

64 さて、祈りのラインマネージャーです。[兄弟がマイクのところに来て、「B-85 から B-100 までの祈りのカードを持っている人たちに、私の右側のあなたの番号に従って、そしてプラットフォームの階段の左側の番号に従って列に並んでほしいのです。B-85からB-100まで。他の人は全員座ったままです。”]

65 彼が列を整えている間、ここにいる全員がそれを知っていると言えるかもしれません。私たちは、あなたは敬虔でなければならぬと言おうとしているのです。責任は負いません。… 毎晩法律で言わなければなりません。私は会議におけるいかなる批評家に対しても責任を負いません。これらは、特にてんかんなど、次から次へと起こります。私は人々が会議にまったく普通に来るのを見てきました。ここで痙攣的な状況を見ると、この痙攣は普通に消え、批評家は不自由になって出て行きます。一度に28匹も来て、てんかんを患って床に落ちるのを見てきました。これらの悪魔の力は行く場所を見つけるでしょう。

そして、皆さん、それが聖書です。それが聖書の教義であることを知っている人は何人いますか？あなたの手を見てみましょう。これはまさに新約聖書の教会が活動しているところですよ、皆さん？全能の神の救い出す力。

66 そして、人々が車椅子の人々を整列させている間、彼らはただあなたがじっとしてほしいと願っているだけで、いつでもあなたを迎えに来ると思います。カード番号の準備ができれば、電話がかかってくる。

67 さて、皆さんにこれを覚えておいてほしいと思います。皆さん、会議にはいつでも大歓迎です。しかし、私があなたに頭を下げてほしいと頼むとき、あなたは頭を下げるべきではありません。そして私が、… 私がこのマイクで言うのを聞くまで、あるいはボズワース兄弟がここに立って頭を上げるのを聞くまで、頭を上

言った、“ああ、あなた一本当に見えますか、ハニー？”

言った、“はい。” 言った、“それは赤い車の設定です。” ああ、私の。彼女はただそのように叫び始めたのです。そして彼らは私を捕まえて車に乗り出しました。

その後、ある夜、テネシー州メンフィス近郊で飛行機から降りてきました。私は始めました；誰かが大声で叫ぶのが聞こえました、“こんにちは、ブランナム牧師。” あっちに行った。そしてそれは誰でしたか？彼はそこにいて、普通に聖書などを読むことができました。

61 私は思う、“驚くべき優雅さ、その響きの甘さ、それは哀れな人を救うだろう..”

今夜も彼は当時と同じだ。彼はここにいるよ、友達。私があなたに求めている唯一のことは、私があなたに真実を話したと信じることです。そして、全能の神の力が私が言ったとおりに行動するのを見てください。そうでない場合、あなたはブランナム兄弟が偽預言者だと言います。もしそうなら、あなたは神の証しを信じます。頭を下げましょうか。

62 私たちの天の父よ、ああ、いつか私たちが旅の終わりに降りてきて、私があなたの家に来たとき、あなたが私を中に入れてくださるよう祈ります、そして私はあそこのどこかに座することができます。私が会った親愛なる人々。私たちは、あなたが私たちのためにしてくださったこれらの偉大なことについての思い出や思い出について話し合うことができます。そして、ここでの巡礼の旅の中で、あなたに会い、あなたが近くにいること、そして今夜あなたが病気で苦しんでいる人々を救うためにここにいることを知ることは、なんと素晴らしいことでしょう。

主よ、今に至るまで、私たちはあなたが誰をこの線に加わることを選んだのかわかりません。あなたは知っています。誰かがここにいます。カードを持っている人は50人います。主よ、あなたは備えてくださるでしょう。誰が来るか知ってるだろ。そして私たちはそれをあなたの手にお任せます、主よ。

63 さあ、皆さんを祝福してください。そして主よ、祈りの列に並ぶことができない人々が、自分たちが苦しんでいる他の人々を見たとき、彼らが救われるのを見てくださいますように、神よ、彼らの信仰が立ち上がって信じることを祈ります。そして、父よ、街中で昔ながらのリバイバルが始まることをお許しください、主よ、すべての教会がリバイバルを起こし、失われた魂があなたの愛する御子を信じて入ってくるでしょう。許してください、親愛なる神よ。

今夜は「病と苦しみ」について語られているこの箇所から、ほんの少しだけ述べたいと思います。どうか、よく耳を傾け、心を一つにしてお聞きください。

8 病や苦しみはすべて罪の結果です。

それが必ずしもあなた自身の人生の罪とは限りませんが、あなた以前の誰かの罪によることもあります。

悪魔こそが、病と苦しみの作者です。

もし悪魔が存在しなかったなら、病も痛みもなかったのです。

しかしサタンが来たとき、彼は病と痛みを伴って来ました。

私たちはしばしば、それらを「祝福」と呼ぶことがあります。

けれども私は、病気そのものから神が祝福を生み出されるとは、どうしても思えません。ただし、その人が罪人であって、その病が彼を神へと追いやるのであれば、あるいは不従順な子どもであって、その病が父なる神との和解へと連れ戻すのであれば、その限りでは意味があるでしょう。

しかし、病は悪魔と墮落の結果なのです。

今日、私たちはかつてないほど優れた医師を持っています。

最高の医学、最高の病院があります。

それにもかかわらず、かつてないほど多くの病が存在しています。

これまでで最も進んだ医療科学を持っている時代でありながら、同時に「不治」と呼ばれる人々のための施設が、次々と建てられています。

病や痛みに対して、これまでで最高の科学研究がなされている時代でありながら、毎年、不治のための施設が建てられているのです。

9 しかし、神の御子イエス・キリストの前に現れたもので、主が打ち勝てなかったものは一つもありませんでした。

主はどんなものにも勝るお方でした。

そして主は、昨日も今日も、いつまでも変わることのないお方です。

それは証明されます。あなたがたは、夜ごとにそれを見るでしょう。もしそう

でないなら、疑う権利があなたがたにはあります。

ある人がこう言いました。

「その癒しは続くのですか？」

癒しは、信仰が続くかぎり続きます。

しかし信仰が失われるなら、癒しも失われます。

祭壇に来て回心したすべての人が、一生クリスチャンであり続けるのでしょうか？

今夜は神の子であっても、明日は悪魔の子になることもあり得ます。

神への信仰を失うこと、それが人を再び元に戻してしまうのです。

10 この壇上であなたを癒すことのできる力は、あなたを健康に保ち続けることもできるのです。

だからこそ、私はこう言うのです。ここに来たものは、すべてここで解放されます。けれども、この場を離れたあとは、それが保たれるかどうかは、あなたの信仰にかかっています。

これまでに、完全に盲目の状態でも壇上に来て、この同じ聖書を読むようになった人を何人も見てきました。ところが五日もしないうちに、再び以前と同じように盲目になって戻って来たこともあります。

なぜここでは読めたのでしょうか。

悪魔の力が、神の賜物を認めざるを得ず、退かなければならなかったからです。

これは大胆な言い方だと分かっています。しかし、私は自分がどこに立っているかを知っています。

そして、自分が誰を信じてきたのかを知っています。

主の癒しの力を、私は知っているのです。

11 少し前、フェニックスにいたときの事です。

祈祷の列は通りのずっと先まで伸び、会堂の中にさえ入りきれないほどで

私は言いました、「しかし、主は私に、自分がいる場所に行くように言われています。」

58 そして私は片側に飛び出してそこへ行きました。彼らは小さな輪を形成しました。そして、私が上がってくると、彼女が言うのを聞きました。老妻は言いました、「牧師が来ました、ハニー」わ、わ。彼がいた場所に少し近づきました。

彼は言いました、「“これはあなたですか、ブランハム牧師？”」

そして私は言いました、「はい、先生。」

彼は手で私の顔を感じ始めます。そして彼は言いました、「“パーソン、私の話を少し聞いてもらえますか？”」

私は言いました、「はい、先生。」

59 彼は言いました、「パーソン、」彼は言いました、「私の年老いた母は信仰深い良い女性でした。」“彼女は生涯一度も私に嘘をつきませんでした。”言った、「彼女はもう10年ほど亡くなっています。」言った、「私はこれまでの人生であなたのことを聞いたことさえありませんでした。」“私はここから100マイルほど離れたところに住んでいます。”そして言いました、「昨夜…」“私はもう何年も目が見えません。”言った、「昨夜、私は目を覚まし、ベッドの横に立って、年老いたママが立っていました。そして彼女は言いました、「ハニー、坊や、あなたはアーカンソー州エルドラドに行って、ブランハムという名前の人を探してください。」「主は神の癒しの賜物を与えてくださいました」と言われました。あなたは視力を受け取るでしょう。」ああ、心がそんなに大きくなりそうな気がする。神が語っておられるのを見ました。

人間がそれを信じないなら、神は心の正直な人に何らかの形でそれを宣言するでしょう。彼はそうするだろう。

60 私は彼に手を置きました；私は言いました、「兄弟よ、この幻をあなたに送った主イエスは、あなたを元気づけるために今ここに立っています。」私は彼から手を離れた。

彼の手を握った；白内障は死んでいた。涙が頬から滴り落ち始めた。彼は言いました、「“主よ、感謝します。”。主よ、感謝します。”

彼女は言いました、彼の妻は言いました、「ハニー、わかりますか？」

言った、「はい、なるほど。」

私はエルドラドにいました。私は約2晩レーストラックにいて、ここを出るとすぐにシュリーブポートに行き、次にエルドラドに行き、そして下っていきます。私は小さな教会に行っていました。彼らは言いました。“この教会に講演に来ていただければ..”

何千人もの人々が街に詰めかけた。そして、この写真で転向した記者は、ホテルの管理人であり、同時に転向していた。彼らはイエスを見つける方法を知りたかったのです。何年も教会の会員でしたが、神の働き、つまり神がご自分の民の中でそれを用いてなさっているのを見たとき.. 彼らは私を小さな部屋に連れて行ってくれました。そして私は説教していました。

56 そして私が外に出ると、4人の男が私の周りに集まり、ドアから出てきました。そして、雨の中、愛する人やあらゆるものを覆うキャンバスを構えて、街区や待っている人々のために立ちましよう。行く場所も、入ることもできず、どこにも場所も、民家もありません。彼らは新聞を置き、キャンバスを抱え、にわか雨が降ると、足の不自由な小さな子供たちが横たわり、祈りの列に並ぼうとする順番を待っていました。言っておきますが、兄弟、それは神を愛する人々です。そうだね。決して忘れない。非常に多くの驚異的な出来事、神秘主義者がその過程で起こりました。私は建物から出て行きました。人々は泣きながら、押しながら、私たちがいた場所にたどり着こうとしていました。彼らはこのラインを車に向かって進ませていました。

57 誰かが叫んでいるのが聞こえ続けました、“マーシー。慈悲。慈悲。”

そして私は周りを見回しました。どこかで聞こえた、何かが私の心の中で飛び跳ねているように見えました。私は見た。ずっと横に立っています。…アーカンソー州には、有色人種と白人と一緒にいられないという法律があります。片側に立っていたのは有色人種の男性で、手に小さな帽子をかぶっただけで、雨の中そこに立っており、雨が彼の顔に当たっていた。彼の妻は叫びながら、“慈悲を叫びました。慈悲。慈悲。”

私は盲目の老バルテマイのことを考えました。そして私は続けて、ただそんなことをしないように言っているように見えました。何百人もの人が押しながら、私は言いました。“あの有色人種の男がどこにいるのか見てみたい。”

彼らは言いました、“ブランナム兄弟、そんなことはできません。” そのうち2人は警察だった。彼らは言いました、“あなたは今すぐに人種暴動を起こすでしょう。” 言った、“そんなことはできないよ。”

した。

その列に入るとき、ある人が言いました。

「ブランナム兄弟、あれだけの人々の前に立つのは怖くありませんか？ 批評家もいるし、新聞記者もいるし、いろいろと批判しようとする人たちもいるでしょう。」

私はこう答えました。

「主が近くにおられると感じているかぎり、恐れはありません。しかし、もしその御臨在を感じられないなら、私は壇上を降りて家に帰ります。」

人間には何もできません。

すべては神から来なければならないのです。

12 たとえば、がんについて少しお話したいと思います。それは今日の大きな敵の一つのようです。がんとは何ですか？どこから来たんだ？腫瘍、白内障、潰瘍、肺炎、結核、これらの名前はすべて医学が付けた医学名です。聖書は彼らを悪魔であると宣言しています。たとえば、がん、がんとは何ですか？通常は打撲から生じます。

13 地球上のすべての自然物は霊的なものをタイプします。自然のすべてがスピリチュアルなタイプです。それはご存知でしょう、皆さんのほとんど。

14 たとえば、赤ちゃんが生まれたときや、神から子供が生まれたときなどです。神の国で赤ちゃんが生まれたとき、子供が生まれたとき。… 聖書にはこうあります。“天には父、子、聖霊の三つの記録があります。” [観客の誰かが叫びます。]

さて、誰かが病気か何かなので、注意してください。これらのことを見逃すと、おそらく治癒が完全に恋しくなるでしょう。

15 「天においてあかしするものが三つある」とあります。

さて、私たちの回心についてですが……

イエス・キリストが死なれたとき、その御体から出た要素は、水、血、そして御霊でした。この三つが新生を構成します。牧師の方々、そうではありませんか？

水、血、御霊——

この三つが新生を成すのです。

それは自然の誕生にも型として現れています。

赤ちゃんが生まれるとき、最初に何が起こりますか？

水、血、そして命。

自然のすべては、霊的なものの象徴なのです。

16 そして、がんについてですが——

自然界で見るなら、それは肉体の病です。しかし霊的に見るなら、それは悪魔です。

それは腐肉をあさるもの、ハゲワシのようなものを象徴しています。死んだものを食べるのです。

がんは打撲や傷から生じることがあります。

たとえば、今ここに私の手には、がんはありません。けれども、将来そうなる可能性はあるでしょう。では、何ががんを生じさせるのでしょうか。

体内のある細胞、あるいは病原体が正常な状態から外れ、傷ついたり、何かが入り込んだりします。そしてその細胞が異常な増殖を始めるのです。分裂し、増え続け、やがて腫瘍を形成し、体をむしばみ始めます。

霊的に言えば、それは墮落したものが増殖していく姿なのです。

17 さて、すべての命、あらゆる生命は、種(胚・生命の芽)から始まります。

あなた自身も一つの生命の種から来ました。

かつてあなたは、肉眼では見えないほど小さな存在でした。父から来たのです。母の血からではありません。血の細胞は男性側から来ます。そこから細胞が増殖し始めるのです。

そして、すべては「その種類に従って」生まれます。

犬の種からは犬が、鳥からは鳥が、人からは人が生まれます。

話していて、ある女性が私に手を押ししたり振ったりしているのを見ました。彼女は言いました、“ブランナム兄弟、私を認識しませんか？”

私は言いました、“いいえ、奥様。”彼女はそんなふうに出発していました、そしてみんな…

言った、“私は… 皆さん、失礼します。”彼女は言いました、“ただあなたに会いたかっただけです。”

そして、そこで誰かが笑っているのを見ました、それは彼女の夫でした。そして彼女は、5人の幼い子供たちと一緒に、できる限り完璧で、普通に、そして正気でそこに座っていました。

彼らは彼女を連れ戻した。彼女は一度も車を蹴らず、戻った。彼らは彼女をパッド入りの独房に戻した。2日目の朝、彼らは彼女に食事を与えに行き、彼女は準備をしていた。そして4日、3日、または4日の朝、彼らは彼女を善良な人として解雇し、子供たちの元に帰宅させました。“イエス・キリストは昨日も、今日も、そして永遠に同じです。”

53 ほら、友人たちよ、悪魔は牧師やキリスト教徒よりも先に神の力を認識することがあります。知ってたのか？何度も…聖書を読んでください。

祭司がそう言うと、“ああ、彼はベルゼブブです。”

悪魔は言いました。“私たちはあなたが誰であることを知っています。神の子、イスラエルの聖なる方です。”そうか？

パウロとサイラスが牧師たちが自分たちが詐欺師だと言ったとき、あの小さな老占い師が自分たちは生き方を持った神の人だと言ったときのことを覚えていますか。

54 私の記憶が間違っていなければ、アリゾナ州フェニックス出身のフーパー牧師が建物の裏側に立っていれば、その発言を検証できるでしょう。その夜そこにいなかったのですか、フーパー牧師？ちょうどそれが起こったとき、そこに男がいました。アーカンソー州リトルロック、ビクトリーストリート505番地にあるGHブラウン牧師に手紙を書き、証言を求めてください。彼に送らせてください。…療養所に証言させろ。それは何千ものうちの1つです。

55 もう一度だけ。この翌日、主の天使が建物に入ってきました。…そして祈りの列を始めます。

ます。”

50 そしてその頃、彼女は振り返った。彼女は言いました、「“ウィリアム・ブランハム、あなたは私とは何の関係もありません。”。彼女をここに連れてきた。”

彼は言いました、“なぜ…”

私は言いました、“それは彼女ではありません。それは彼女から発せられる悪魔だ。” そうだね。彼らは認識しています。彼らは知っている。

彼は言いました。“ブランハム兄弟、それが彼女が2年ぶりに話した言葉です。”

私は言いました、“悪魔は軍団の場合と同じように、ただ唇を使っているだけです。”

彼女は這って私のところに来て、「“あなたは私とは何の関係もありません”」と言いました。

51 私は言いました、“兄弟、あの天使の到来について私が語ったのを聞いた話を信じますか?”

彼は言いました、“心を込めて”彼は私の周りに腕を投げながら言いました。

私は角の階段まで歩き、心から主イエスに祈りました。私は言いました。“神様、あの可哀想な女性を見てください。家には罪のない子供が5人いて、母親はおらず、乳飲み子が1人います。” 私は言いました、“何が起こり得るのですか? おお神よ、憐れんでください。” そして主の霊がやって来た。そして私は悪魔に女性から離れるように頼みました。

振り返って、私は言いました、“さて、あなたはそれを信じますか?”

彼は言いました、“心から。彼女をどうしたらいい ブランハム兄弟?”

私は言いました、“彼女を連れ戻してください。彼女を療養所へ連れ戻してください。” 私は言いました。“私が言ったことを一つでも疑わないなら、何が起こるか見てください。”

52 それから2か月後、私はアーカンソー州ジョーンズボロにいました。そこでは多くのことが起こっていました。約2万8千人が市内に集まった。そして私は

もし何も妨げるものがなければ——神のご計画を何も妨げなければ——完全で正常な子どもが生まれます。そして何も妨げがなければ、完全で健やかな大人へと成長します。

しかし、何かそれがそれを妨げるならば、それは神のご計画を妨げる悪いものなのです。

神は、あなたが病むことを望まれませんでした。

神はご自身のかたちに似せてあなたを造られました。

あなたが健やかであることを望んでおられます。

そして神は、あなたを健康に保つために、できる限りのことをすでに成してくださったのです。

18 サタンはあなたに敵対しています。

がんや腫瘍が始まる時、それは一つの生命の芽から増殖を始めます。やがて悪性となり、体を形づくっていきます。それは一つの「体」です。あなたが体を持っているのと同じです。

それにも霊があります。あなたが霊であるように。

ただし、それには魂はありません。しかし、あなたが命を持っているように、それも命を持っています。

つまり、あなたの肉体の中には二つの命が存在することになります。

一つはあなた自身。そしてもう一つは、別の存在が細胞を増殖させ、体を形成し、成長しているのです。あなたが一つの体に成長したように。

では、それは何によるのでしょうか。

悪魔です。

その芽は命です。最初は小さな細胞ですが、そこに命があります。そしてその命は、二つの源のどちらかからしか来ません。神からか、悪魔からです。

あなたは神による生命の芽から来ました。

しかし、がんや腫瘍は悪魔による生命の芽から来ます。

彼はあなたの命を破壊しようとしています。血流をむしばみ、さまざまな方法であなたに働きかけます。

だから私は、それらが悪霊であることを知っています。

イエス・キリストはそれらを悪霊と呼ばれました。

主が言われたことは真理です。

それらは悪魔です。

悪魔は苦しめる者です。

あなたの体を引き裂き、食い尽くし、滅ぼし、もしできるならあなたの寿命——七十年を短くしようとするのです。

19 だからこそ、この神の御使いが私のもとに降りて来られるとき……私はあなたがたのことを何も知りません。

しかし、その御使いがあなたの体の中にある病の種類を告げられるのは、その命が、神から遣わされたより大いなる命に従わなければならないからです。神がそれを見分けるために遣わされた命に、従うのです。

また、あなたの人生でなしてきたことも、神の力によって示されます。そして私は、それがまだそこにあるのか、あるいはすでに去ったのかを告げることができるのです。

その結果は、目に見える形で現れます。

体がまっすぐに整えられ、正常になるのをあなたは見ることができます。

目が開き、耳が開かれるのを見るすることができます。

それは神の力が働いている証拠なのです。

20 さて、これは何でしょうか。

ここにいるあの小さな男の子のような場合です。あるいは、数日前に幕屋（タバナクル）に来られた方もおられるでしょう。ここには「シカゴ・トリビューン」に掲載された写真があります。施設から来た九人の口のきけない人々——生まれつき耳が聞こえず、話せず、そのうちの一人は耳も聞こえず、話せず、さらに盲目でした。

48 そして私は彼女の手を握りました。そして神の祝福により、私はたまたま警戒していました。彼女は私に両手でそんなふう嫌な奴をしてきたし、おそらく私の体の骨を折っていただろう。そして私は足を投げ出して、彼女の胸をつかみました。彼女は私をずっと下に引っ張っただけです。私は彼女から身をよじって立ち去った。そして、階段に乗るために彼女から逃げると、今まで見たことのない光景が見えました。あの女性は、このように両手足を空中に突き出して、蛇のように仰向けに私を追いかけてきます。彼女が床の上をそのように這っているのが聞こえました。

さて、それは悪魔です。あなたが望むことは別のことを言うこともできますが、その女性は悪魔に縛られていました。彼女は蛇のように仰向けに私のところに来て、そこに立ち上がって床の側面にぶつかりました。彼女は振り返り、大きくて強い手足を…そのように蹴られた。そこにはベンチセッティングがありました。彼女はそれを頭で殴りました；彼女の頭の側面から血が飛び出しました。そして彼女はその一部を叩き落とした。そして彼女はそれを手に掴み、夫に投げつけて壁にぶつかりました。そして、その漆喰は壁から落ち、彼女はそれをとて素晴らしい音で叩きました。マニアック、おそらく彼女の20倍の力。…そして、そこは素晴らしい。…とにかく、彼女は体格が良く、強い女性でした。

49 そして彼女は本当に面白い音を立て始め、“イーイーイー、イーイー”と言いました。

私は彼女を見て、“なんで、何も見たことがないんだろう、と思いました。。神は、そのように縛られた哀れな人間を憐れんでくださいます。”

そして男は泣き始めた。彼は歩いてきて、手を回し、腕を私の周りに回して言いました。“ブランナム兄弟、振動がないと言うのですか？”“そして、私は何に行くのか分かりません。”と言いました。彼は泣き崩れた。彼は言いました。“彼女には家に5人の小さな子供がいます。”そして言いました、“I—I…。彼女は良い女性でした。”“彼女はこれらの古い土塊を耕し、私が綿花作物を育てるのを手伝ってくれました。”そして言いました、“彼女が病気になったとき、”言いました、“私はできる限りのことをしました。I—農場を売りました。”そして言いました、“彼女をここに連れてくるために、ブランナム兄弟、私にはラバが一足残っていました。”そして私はそれらを売って、兄に彼女を200マイル連れてきて、ここに連れて来させました。そして今、彼女は車から眼鏡を蹴り出したので、手足から出血しています。”“彼女は2年間も休んでおらず、自分の名前さえ知りません。”

私は言いました、“そうですね、兄弟、確かに、神は彼女を癒すことができ

46 階段には男性が立っていましたが、オーバーオールを着て青いシャツを着た古き良きアーカンソー州の兄弟だけでした。友人たちよ、時には最高の心がその下で鼓動することもあると私は言います。そうだね。それは本当だと思います。私はどんな付け合わせも好きではありません。私は本当に昔ながらの男性と女性が好きです(そうです)神に救われ、二度生まれました。そして彼はそこに立って、色あせたような古い服を着ていました。私は言いました。..歩いて行きました。

私は言いました、“どうやってやるの?”

そして彼は言いました、“こんばんは。”。あなたはブラナム兄弟ですか?”

私は言いました、“はい、先生。”

言った、“そうだと思っていました。”

PA システムもそこでそれを削除していました。彼らの片側には狂人がたくさんいました。

47 しかし、彼らはこの女性を誰も飼うことができませんでした。彼女を連れてくるのに8、10人ほどの男が連れて行かれた。彼らは彼女を救急車で連れて行くことができなかった。彼らは彼女を救急車に乗せようとはしなかった。そして彼らは車で誰かをそこに送り込み、彼女は車から眼鏡をすべて蹴り出し、男たちは彼女を車の中に抱きしめようとした。そして彼女は仰向けに横たわっていました。医師は彼女に早すぎる人生の変化のためにいくつかの注射をしましたが、彼女はこれに遭遇しました。そして彼女は仰向けに横たわっていました。

そして私は言いました。“さて、外に出て振動を感じるかどうか見てみましょう。”

彼は言いました。“ブランナム兄弟、そこに行かないでください。” 言った、“彼女はあなたを殺すでしょう。” 私はこう言いました、“ああ、そうではないと思います”。

そして私は出て行きました。彼女はそこに横たわり、私を見つめ、目を叩きながら見つめていました。そして私は言いました、“こんばんは。” 彼女は一言も言わなかった。私は彼女の手を握った。私は言いました、“こんばんは。”

言った、“彼女は自分の名前さえ知りません、ブラナム兄弟。彼女は2年間も知りませんでした。”

その記事は、もしかすると責任者の方々がすでに皆さんに読んで聞かせたかもしれません。

「シカゴ・トリビューン」のような新聞は、熱狂的な記事を書けるようなものではありません。そのような内容が掲載されるには、徹底的な調査と確認がなされなければなりません。「ウォーキーガン・サン」や「ポスト・ディスパッチ」など、どの新聞でも同じです。

これは熱狂でもなければ、作り上げられた話でも、神話的な信仰でも、理論でもありません。

全能の神の力なのです。

そしてその力は、今夜ここにあり、それを証明されます。

そして、会衆が一つの心、一つの思いになるならば、なおさらです。

もしここに座っている方々、今夜祈られるために壇上に上がる方々が、心を一つにし、思いを一つにするなら、次の五分のうちに、ここにある車椅子や寝台に残る人は一人もいないでしょう。

これが真理であると信じるなら——

今夜、一人ずつ壇上に上がる時、もし彼らとその車椅子や担架から立ち上がり、正常な状態でこの壇を歩いて降りていかなければ、そのときは、私が間違っていると行ってください。

21 私は誤りのない神に訴えます。

神は決して間違われません。あなたは癒されます。

主は、ご自身の御言葉を真実であると証明するためにここにおられます。

神がお語りになる一言一言は真実です。

しかし、中途半端に信じてはなりません。

「そうだと思う」ではなく、「確かにそうだ」と知ることが必要です。

多くの人が「私は信じています」と言います。

けれども、本当に信じている人は、千人に一人いるかどうかです。

「信仰は望んでいる事柄の実体であり、見えないものの証拠である。」

それが本当の信仰なのです。

22 私たちの体は五つの感覚によって支配されています。

それが真実だと分かる方、手を挙げてください。

五感——見る、味わう、触れる、嗅ぐ、聞く。

これが自然の人を支配しています。

しかし、その内側にはもう一人の人がいます。

信仰の人、霊の人です。

その人には二つの感覚があります。

一つは信仰、もう一つは不信仰。

五つと二つで、合計七。

それは神の完全数です。

ここにいるほとんどの方は、自分の五感に基づいて物事を確かだと言うでしょう。

では、少しの間、これを考えてみてください。

23 カウブル博士、ちょっとここに立ってください。

さて、私の前に一人の男性が立っているとしましょう。小さなチェック柄のスーツを着て、眼鏡をかけ、赤いネクタイをしています。私が正しいと思う方、手を挙げてください。

では、どうしてそこに男性が立っていると分かるのですか？

見えているからです。そうですね。

今の私にとって、そこに誰かが立っていると分かる唯一の感覚は「視覚」です。見ることによって、その存在が確認されます。

では今、私は彼のほうを見ていません。それでも、そこにいると信じていま

信仰を生きた行いとして用いなさい。

そうすれば、その場で神があなたのために働き始め、あなたを健やかにしてください。

44 ホットスプリングスのときのことで……いや、たしかリトルロックだったと思います。

ある晩、救急車があまりにも多く集まり、路面電車が通れないほどになりました。警察が出動し、ホットスプリングスの城の下あたり、リトルロックの角から車両をどかさなければならなかったほどです。

ブラウン牧師——G・H・ブラウン師が、その町の牧師の一人でした。この証言をお聞きになりたいなら、アーカンソー州リトルロック、ビクトリー通り505番地、G・H・ブラウン牧師に手紙を書いてみてください。

悪霊の力の話ですが……。

それは私にとって四回目か五回目の集会だったと思います。夜十一時ごろには、手がすっかりしびれてしまいました。

家に帰ると、手がまったく感覚を失ってしまい、感覚を取り戻すために三十分近く熱いお湯に浸けなければならないこともあります。肉体的な反応です。

そして腕時計の話ですが……。人の手を握ると、その腕時計が止まってしまうのです。今はロンジンの時計を持っています。工場から出たばかりのもので、それをつけて人の手を握ると、ぴたりと止まります。

それがどんな物理的反応なのか、どんな機械的作用なのか、私には分かりません。

45 しかしブラウン氏は言いました。“講堂の地下室へ降りてきてください、ブランナム兄弟。”彼は言いました。“ここには、あなたが見たことのないような事件があります。”さて、休んでいる間に降りてきました。

恐ろしい光景をいくつか見たことがあります。そのようなものは見たことがありません。私は、若い女性たちがベッドパンを使い、顔に塗りつける施設に行ったことがあります。恐ろしいことはいくつか見ましたが、このようなことは一度もありませんでした。床には30歳くらいの35歳の、強そうな女性が横たわっていた。そして彼女の足はこのように突き出ていて、出血していました。

そして続けて言いました。

「イエス・キリストの中にあつた賜物が、もしあの沖合の大海原だとするなら、私たちの兄弟の中にある賜物は、その海からすくった一さじの水のようなものです。しかし、その一さじの水の中にも、海全体と同じ成分が入っているのです。」

そのとおりです。

私は自分が弱くなっていくのを感じていました。

しかし、そこにその人はいました。完全に解放されていたのです。

42 それは、何百回も起こってきたことです。

そしてこの建物の中にも、ほかの集会に来られたことのある方がおられるでしょう。それを目撃した方々です。

ここに、その証人となれる方がおられますか？

ほかの集会に出席し、それが真実だと言える方、手を挙げてください。

ご覧のとおりです。

聖書はこう言っています。

「二人または三人の証人の口によって……」

真実は確立されるのです。

43 さて、ルイビルでも同じことが起こり得るのです。

ここから、完全に解放されずに帰る必要は誰一人ありません。

壇上で全員のために祈る時間はないかもしれませんが、ここにいてすべての人が祝福を受けることはできます。

もし神がここでご自身を神として証明し、私が語ったことが真理であると確認されたなら――

そのときは神を信じなさい。

そして、あなたの信仰に基づいて行動しなさい。

す。

なぜでしょうか。私は視覚とは別の感覚を持っているからです。それは「触覚」です。私は彼に触れて、そこにいと分かるのです。

そして、それがカウブル博士だと分かります。ボズワース博士ではありません。なぜなら、カウブル博士は小さな新約聖書を手に持っており、それが今もそこにあるからです。

以前、こう言ったときに、誰かが別の人をそっと入れ替えたことがありました。しかし、そのとき私は、カウブル博士が小さな聖書を持っていることに気づいていました。だから分かったのです。

つまり、今彼がそこに立っていると分かる唯一の方法は、「触れる」という感覚によるのです。

そして、それが真実であると私は知っています。

24 しかし今、私は彼に触れていません。

その感覚は今の私には働いていません。けれども、彼がそこにいることを知っています。なぜなら、見えているからです。分かりますか？

体には、彼がそこにいると告げる二つのはっきりした感覚があります。

一つは「見ること」、もう一つは「触れること」です。

今は触れてはいませんが、見えているので分かります。

では、兄弟、ちよつとそのままそこに立っててください。

25 さて、もう一つの感覚があります。それは「聞く」感覚です。

何か音楽を鳴らしてみてください。

(ピアノが弾かれる。)

今、音楽が鳴っていると信じる方、手を挙げてください。

それを「見えますか？」

音楽が見える人はいますか？

匂いがありますか？ 味がありますか？ 触れますか？

では、どうして音楽が鳴っていると分かるのですか？

あなたは「聞く」という感覚を持っているからです。

もしここに、聴覚を持たない人がいたらどうでしょう。その人には音楽が鳴っていることは分かりません。その感覚が働いていないからです。聞こえないのです。

しかし、聴覚を持っているあなたには、それが鳴っていると分かります。

見ることも、触れることも、嗅ぐことも、味わうこともできません。けれども、聞くことができるのです。

さて、信仰とは何でしょうか。

信仰は、望んでいる事柄の実体であり、見えないものの証拠です。

見ることも、味わうことも、触れることも、嗅ぐことも、聞くこともできないものの証拠です。

しかし、信仰という感覚は、あなたの視覚や他のどの感覚と同じほど現実なのです。

分かりますか？

それを信じているとき、誰もあなたを疑わせることはできません。なぜなら、「それが真実だ」と告げるその感覚を、あなたが内に持っているからです。

26 あなたはこう言うでしょう。「あのシャツは白い。」

もし私が「いや、赤い」と言ったら、あなたは信じません。なぜなら、白く見えているからです。あなたの視覚が「白い」と告げているのです。

それと同じです。

今夜ここに祈ってもらうために来ているあなたが、「私は癒される」と、自分の目がそのシャツを白く見ると同じほど確信をもって信じるなら——その瞬間に、働きは終わっているのです。

ありがとう、カウブル博士。

きながら触れようとし、混雑していました。

しばらくして、ようやく見つけました。後方のほうに、白いシャツを着た男性がいました。私は彼を縛っている霊が何かを見極めようとしていました。

その人は足が不自由でした。数年前に馬から落ちたのです。マイアミの商人でした。手も腕も不自由に曲がっていました。

実は、彼は批判するために集会に来ていたのです。しかし、次第に信仰が芽生え始めました。

私は止まり、言いました。

「そのあなた、後ろのほう、こちらへ四列目、白いシャツを着ているあなた。立ちなさい。イエス・キリストがあなたを癒されました。」

彼が立ち上がると、両手が高く上がりました。

奥さんは化粧をした上品な方でしたが、その叫び声を聞いたら、まるで聖霊派の熱心な信者のように思えたでしょう、と今朝ラジオであの兄弟が言っていました。

そこに彼はいました。

完全に解放されていたのです。

41 ボズワース兄弟はその件を詳しく調べました。そして私のところへ来て、その人にいろいろと質問しました。

すべてを確認したあと、私にこう尋ねました。

「どうしてあの人だと分かったのですか？」

私は言いました。

「私はだんだん弱くなっていくのを感じました。それがどこかから来ているのは分かっていたのです。」

すると彼はマイクの前に立ち、こう言いました。

「これこそ、イエス・キリストが昨日も今日も、いつまでも変わることはない方である証拠です。まさにその証明です。」

動のように、ドクン、ドクン、ドクンと。

それがはっきりと来たとき、私は振り向きました。

「さあ、かわいい子……」と言って、その子に手を置き、主イエスに願いました。

それから母親に言いました。

「さあ、その装具を外しなさい。」

母親は言いました。

「でも、ブラナム兄弟、この子は……」

私は言いました。

「いいですか、疑ってはいけません。言われたとおりにしなさい。」

母親は歩み寄り、子どもの装具を外しました。

すると、その子は大きな装具を抱えながら、人々の間を歩いて戻って来ました。

小さな足で、まったく正常に、まるで最初から何もなかったかのように歩いでいました。

そうですね、ボズワース博士？

そして集会はそのまま続いていきました。

ほんの数分の出来事でしたが、私はただ……。

40 あの場所は、この建物の二倍以上はあったでしょう。大きなサーカス用の天幕の下、人々は立ち並び、さらに外の通りにまであふれていました。プリンセス・ガーデンズでのことです。

私は祈り続けていました。すると、またあの感覚が来ました。

「フーツ、フーツ」と押し寄せるように。信仰が立ち上がったのだと分かりました。

しかし、どこから来ているのかが分かりません。人々は次々と通り過ぎ、泣

そうです。信仰は、望んでいる事柄の実体であり、見えないものの証拠です。

見ることも、味わうことも、触れることも、嗅ぐことも、聞くこともできないものの証拠です。

それは別の感覚なのです。

別の領域に属しています。

それは自然的なものではありません。

27 神から何かを受けることができるのは、信仰によってのみです。

信仰によってエリコの城壁は崩れました。

信仰によってモーセはパロの娘の子と呼ばれることを拒みしました。

信仰によってギデオンも行動しました。

すべては信仰によるのです。

そして、信仰がなければ神を喜ばせることはできません。

もし神を喜ばせたいなら、信仰をもって御前に出なければなりません。

そして、神の御言葉が真理であると信じることです。

28 なぜ私がここに立ち、このように宣言できるのでしょうか。

「この壇上に来る者は、必ず診断され、その病も心の奥の秘密も語られる」と。

そして、どれほど重い不自由であっても、これまでの集会に来られた方々は知っています——毎回、癒しが起こってきたことを。

なぜでしょうか。

御使いが私に会われたとき、こう言われました。

「あなたが誠実であり、人々にあなたを信じさせることができるなら、あなたの祈りの前に立ちただかるものは何もない。」

私はそれを信じています。

そして、もしあなたがたも同じように信じるなら——

この町、ケンタッキー州ルイビルは、かつて経験したことの無い揺さぶりを受けるでしょう。

それは挑戦です。

29 今夜、私がしようとしていることは、あなたがたに私の言わんとすることを理解していただくことです。

そして、ここに来て解放されたなら、その御言葉の上にとしっかりと立ちなさい。

主はあなたの告白の大祭司です。

まずあなたが「主がそうである」と告白しなければ、神はあなたに何もなさることができません。

しかし、あなたが告白し、それを信じ、それに基づいて行動し、そこにとどまり続けるなら——神はあなたをそこから導き出してくださいます。

信じますか？

本当に。

少し前、インディアナ州フォートウェインでのことですが……

30 ところで、ボズワース博士、私のオーバーコートのポケットに一通の書類が入っています。先ほどの集会の報告です。「We The People」に掲載される予定のものです。

たしか、小さな盲目の少女の記事でした。ある新聞記者が批判的な記事を書き、「その少女は癒された」と主張したが、実際には癒されていなかった」と報じたのです。

しかし、その少女は医師の正式な診断書を持っていました。証明書もありました。そして再調査が行われ、今ではその内容が「We The People」にも取り上げられることになったのです。

神は働かれます。

御使いはこう言いました。

「もし人々にあなたを信じさせることができ、そして祈るときに誠実であるなら、どんな悪霊もその前に立つことはできない。」

悪霊は主を知らなければなりません。

そして私は、その言葉が神から来たことを知っています。

患者の信仰がその場所にまで上がるとき——

そこに完全な信仰が生まれます。

私はそれが失敗するのを一度も見たことがありません。

そして、決して失敗することはありません。

失敗するはずがないのです。

38 その子がまた押されて来たとき、私は言いました。

「ねえ、あなた、私の後ろに立っていなさい。」

その子は後ろに立ち、私のコートのすそをぎゅっと握りました。

私は言いました。

「お祈りなさい、いいかい。」

小さな頭を下げ、一生懸命祈っていました。

ボズワース兄弟はその様子をじっと見ていました。まだ少し懐疑的な思いを抱きながらも、最後の祈祷が進んでいくのを見守っていました。その晩が、たしか最終日だったと思います。

その子はずっと私のコートを握ったまま、私は祈り続けていました。やがて私はその子のことを忘れてしまいました。

もう一度振り向いて、

「ねえ、そのまま祈りなさい」と声をかけました。

39 しばらくして、私はその信仰が定まってくのを感じ始めました。まるで鼓

その晩は数千人が並んでおり、四列に並んだ人々の間を通りながら、ただ手を置いていく形で祈らなければなりませんでした。

36 人々の列の中から、小さな女の子が押し出されて来ました。

私はその子のことを決して忘れません。

かわいらしい金髪の子で、前歯が一本抜けていました。髪には新しい小さな飾りをつけていました。腰のあたりには装具が巻かれていて、体を支えられていました。

人々はその子を列の中へ押し込み、私は手を置いて祈りました。

すると彼女は壇を降ろされましたが、また列の中へ押し戻されました。

かわいそうに、その小さな子は何度も何度も通って来ました。

誰かがまた彼女を連れて来て、私はまた手を置きました。

再び前を通ったとき、その子は私を見上げて、小さくにこっと笑いました。あの前歯の抜けた、あどけない笑顔でした。

そのとき、何かが内側で言いました。

「その子を止めなさい。」

私は言いました。

「ねえ、あなた……」

そのとき私は、その子にはまだ癒されるだけの信仰が備わっていないことを感じました。

37 しかし、それこそが賜物の目的なのです。

壇上で起こっていることを見てください。時には、導き出すために働きかけが必要です。人々は「信じています、ブラナム兄弟」と言います。けれども実際には、信仰はまだここ(低いところ)にあり、本来あるべきところ(高いところ)に達していないのです。

だからこそ、病のことや心の秘密が示されます。それによって信仰が引き上げられ、その人が本当に信じるまで導かれるのです。

そして、誰もその働きを止めることはできません。

もしかすると、明日の午後の集会でボズワース博士がそれを読んでくださるかもしれません。

フォートウェインの新聞社から、つい最近送られてきたばかりのものです。

31 ボズワース夫人、その集会のさなかに、いろいろなことが言われていました……。

そこには、多発性硬化症で十年間も麻痺していた男性が座っていました。進行性の麻痺が脊髄にまで及んでいたのです。その町ではよく知られた実業家でした。人々は彼をそこに座らせていました。

彼らは、車椅子の人やさまざまな苦しみを持つ人々が解放されていくのを何人も見ていました。そしてその晩、会場の後ろにいた斜視の小さな女の子も、多くの斜視の人々が癒されるのを目にしていました。

これまで、斜視の子どもが壇上に上がって癒されなかったことは一度もありません。そして六か月にも満たない間に、三百件以上の斜視の癒しを見ました。記録も残っています。

これまでに、四万件に及ぶ癒しの証言があります。医師の署名入りの証明も含め、証人によって確認されたものです。

32 その時は、今です。皆さん。

時は来ています。

このことを私は言います。そして、もしあなたが望むなら、私を狂信者と呼んでもかまいません。

しかし私は、これがイエス・キリストの再臨を指し示していると信じています。アーメン。

しるしと不思議が現れるからです。

そして大切なのは、もしあなたが神の国の中にいないなら、そこへ押し入ることです。

私は自分が語っていることを、確かに知っています。もしそうでなければ、神が私の祈りをこのように用いられることはありません。

そして、まだ御国の外にいるあなた——

今こそキリストを避け所として求めなさい。時があり、機会が与えられている今のうちに。

私はある言葉を決して忘れません。

かつて私は……ある場所に立っていたときのことです。

33 ところで、フォートウェインのあの小さな女の子の話を最後までお話ししましょう。

ボズワース夫人は、そのとき会場の後ろで書籍を販売していました。その少女は泣きながら出て来て、「ボズワース夫人……」と言いました。ボズワース兄弟の奥様です。

「斜視の人たちが次々と癒されるのを見ました」と。

彼女は十八歳くらいの若い女性で、ひどい斜視でした。

「もし……もしあの祈りの列に入れたら……。でも、カードさえもらえないんです。」

ボズワース夫人はその子を深くあわれみました。そして言いました。

「いい？ あそこへ戻って、彼の姿が見える所に立ちなさい。そして本気で信じるのよ。想像するんじゃなくて、心から、それが神の賜物だと信じるの。そうすれば、数分のうちにきっとあなたを呼び出されるわ。」

34 壇上で病人のために祈っていました。その少女には背を向けていました。

すると突然、何かが定まったように感じました。信仰が動いたのです。

振り向きましたが、すぐには分かりませんでした。あまりにも人が密集していたからです。しかし、それがあの方向から来ていることは分かっていました。そして、どんな霊が働いているのかを見分けようと思いました。彼女の信仰が、その領域にまで上がっていたのです。

やがて、ついに彼女を見つけました。

この建物の倍ほどの距離の向こうに立っていました。緑のコートを着ていました。

私は言いました。

「後ろに立っている若い女性、斜視のあなた、緑のコートを着ているあなた。もう恐れることはありません。神があなたを癒されました。」

その瞬間、彼女の目は完全に正常になりました。

それは、そのようにして起こった何千件のうちの、たった一つの例にすぎません。

さて——もしこの集会が一つになり、皆さんが「これはどうだろう、あれはどうだろう」といった思いを投げ捨てることができたなら。ただ脇に置いてしまうのです。

見物人として来てはいけません。

信じて来なさい。そして、同じことが今この建物の中で起こらないかどうか、見てみなさい。

35 私が初めてボズワース博士にお会いしたのは、ここマイアミでした。集会を開いていたときのことです。

ボズワース博士は国際的に知られた方で、四十年にわたり神の癒しを教えてこられました。いつの日か神が教会に賜物を送ってくださると信じておられました。

私がマイアミにいると聞いたとき、博士はこう思われたそうです。

「また誰かが神の癒しを説いているのだろう。」

ある晩、博士は集会に来られました。

そのときは、いわゆる「ファストライン」と呼ばれる形式で、何千人もの人々が並んでいました。

その日の午後、WBAY放送局で、二人の少年がインタビューを受けていました。二人とも生まれつき盲目でしたが、視力を得たのです。そして放送局で、その証言が取り上げられていました。

ボズワース兄弟は、その夜の集会に来られました。そしてファストラインが始まりました。